

# 白浜町 議会だより

No.56

令和2年(2020)5月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会



入学おめでとう！友達たくさんできるかな。(日置小学校入学式)

## CONTENTS

■ 新議会の構成	P. 2
■ 令和2年第1回定例会、第1回臨時会	P. 3～5
■ 令和2年度予算、予算審査特別委員会	P. 6～7
■ 一般質問	P. 8～10
■ 討論のあった議案	P. 11
■ 提出した意見書	P. 12
■ 町議会・町議会議長の主な動き	P. 13
■ 次回日程	背表紙



# ▷▷ 令和2年第1回定例会 (3月3日～3月24日)

## 第1日

3月3日【開会、町長挨拶、提案理由の説明、議案審議】

- ・会期の決定
- ・議案の提案理由説明（条例改正8件、補正予算関係4件、工事請負契約1件  
令和2年度当初予算関係10件、町道認定1件、指定管理者の指定1件）
- ・議案審議（工事請負契約1件） ・予算審査特別委員会の設置
- ・委員会発議案件1件（新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書）⇒P12

## 第2日

3月12日【一般質問】

- ・正木議員、丸本議員、廣畑議員 《P8～P10に内容記載》

## 第3・4日

3月19日【提案理由の説明、議案審議】

- ・追加議案提案理由説明（工事請負契約2件）
- ・議案審議（議案10件、補正予算関係1件）

3月24日【提案理由の説明、議案審議、閉会】

- ・追加議案提案理由説明（補正予算関係1件、人事案件2件）
- ・議案審議（議案4件、補正予算関係4件、令和2年度当初予算関係10件）
- ・委員会発議案件1件 《討論のあった議案はP11に内容記載》

### □条例改正

○白浜町印鑑条例の一部を改正する条例について

成年後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るため、関係法律の整備に関する法律の施行にともない、関係規定を改正

○白浜町手数料徴収条例の一部を改正する条例について

住民基本台帳法の一部改正にともない、関係規定を改正

○白浜町営住宅条例の一部を改正する条例について

白浜町営住宅の一部の用途廃止により、戸数に変更が生じたため、関係規定を改正

○白浜町介護保険条例の一部を改正する条例について

介護保険法施行令の一部改正にともない、関係規定を改正

○白浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

特定教育・保育施設及び特定

地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改正する府令の施行にともない改正

○白浜町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告による国家公務員の給与改定等に準じ、給与等に関する規定を改正

○白浜町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正を踏まえ、非常勤職員について育児休業を取得することを可能とするため改正

○白浜町職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例について

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に關して、会計年度任用職員の服務の宣誓について、必要な事項を定めるため、関係規定を改正

□補正予算

○令和元年度白浜町一般会計補

正予算(第5号)

既定予算への補正額

5千720万円

補正後の歳入歳出予算総額

141億45万5千円

主な補正内容は次のとおり

(単位 万円未満四捨五入)

【総務費】

・基金積立金

150万円

・ふるさと白浜応援寄附事業

2千43万円

・地籍調査事業

▲7千848万円

【民生費】

・障害者自立支援給付費等事業

4千万円

・公的介護施設等整備補助金

843万円

・児童手当

▲2千950万円

【衛生費】

・各種検診事業

190万円

【農林水産業費】

・農地利用最適化補助金

83万円

【土木費】

・県営事業負担金

531万円

【教育費】

・小中学校校内無線LUN事業

8千510万円

○令和元年度白浜町一般会計補

正予算(第6号)

・事業名の一部変更

○令和元年度介護保険特別会計

補正予算(第3号)

・繰越明許費

127万6千円

○白浜町簡易水道事業特別会計

補正予算(第1号)

・繰越明許費

1千900万円

○白浜町下水道事業特別会計

正予算(第3号)

・既定予算への補正額

190万2千円

・補正後の歳入歳出予算総額

8億4千277万2千円

・繰越明許費

1億1千942万5千円

□白浜町教育委員会教育長の任命

次の方の任命を同意しました。

(敬称略)

・豊田 昭裕(中)

□白浜町教育委員会委員の任命

次の方の任命を同意しました。

(敬称略)

・山本 哲也(田野井)

□工事請負契約

○南白浜小学校屋内運動場耐震

改修等工事

【契約金額】

1億1千550万円

【契約の相手】

白浜町3777番地の7

株式会社 稗田工務店

代表取締役 稗田 良章

○白浜町中地区津波避難タワー

建設工事

【契約金額】

1億296万円

【契約の相手】

白浜町堅田2039番地の2

株式会社イワコ

代表取締役 岩本 友紀

○白浜町日置地区津波避難タワー建設工事

【契約金額】

9千339万円

【契約の相手】

白浜町栄1049番地

SUN頼・S 平阪 恵智子

▽自治功労者表彰

2月6日の全国町村議会議長会第71回定期総会において、丸本議員、辻議員が議員として15年以上在職し、地方自治功労者として表彰されましたので、定例会初日の冒頭で伝達式を行いました。



## 令和2年第1回臨時会

白浜町議会令和2年第1回（4月）臨時会は、4月7日招集、1日間の会期で開催しました。議会構成替えを行ったほか、当局から提案された案件について審議し、それらすべて可決、承認、同意しました。



### □ 条例制定

○ 白浜町水道料金の額の特例に関する条例の制定について

新型コロナウイルス感染症にかかる緊急経済対策として、特例により期限を定めて水道料金を減額し、地域経済活性化の支援を図るため制定

### □ 条例改正

○ 白浜町固定資産評価審査委員会条例及び白浜町手数料徴収条例の一部を改正する条例について  
行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の改正にともない改正

### □ 補正予算

○ 令和2年度白浜町一般会計補正予算（第1号）  
新型コロナウイルス感染症にともなう緊急的な経済対策を実施するための経費

・ 既定予算への補正額

6千930万円

・ 補正後の歳入歳出予算総額

126億5千930万円

主な補正内容は次のとおり

#### 【衛生費】

・ 簡易水道特別会計繰出金

130万円

#### 【観光費】

・ プレミアム旅行券販売事業

3千500万円

・ クーポン付マップ販売促進事業

100万円

・ プレミアム商品券販売事業

1千400万円

・ 中小企業信用保証料補助事業

400万円

・ 小規模事業者等貸付利子補給補助事業

400万円

○ 令和2年度白浜町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）

新型コロナウイルス感染症にともなう緊急的な経済対策を実施するため、予算科目の振り替えを行う

○ 令和2年度白浜町水道事業特別会計補正予算（第1号）

新型コロナウイルス感染症にともなう緊急的な経済対策を実

施するため、特例により期限を定めて水道料金の減額を行う

・ 収益的収入予算補正額

▲7千967万1千円

・ 補正後の収益的収入予算総額

7億8千482万9千円

・ 費用的支出予算補正額

▲350万円

・ 補正後の収益的支出予算総額

8億4千150万円

□ 富田共有財産組合委員会委員の選任について

次の方の選任に同意しました。

・ 西尾 智朗（日置）  
にしお ともあき

（敬称略）

今回の臨時会は、新型コロナウイルス感染症対策、緊急経済対策に関する議案が主だったものでした。



# ▷▷ 令和2年度予算（骨格予算）

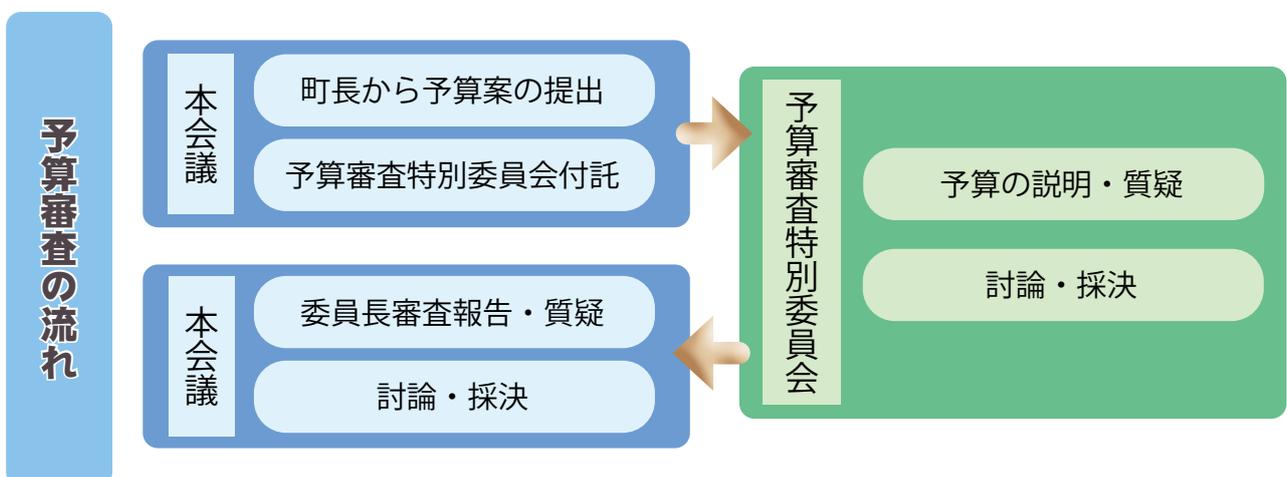


当初予算すべてを原案可決

## 総額 216億 5828万円

3月24日に開催した定例会4日目において、南予算審査特別委員長から審査報告を行い、採決の結果、令和2年度当初予算のすべてを原案のとおり可決しました。

会計名	予算額	前年度比較	
		増減額	増減割合
一般会計	125億9000万円	△6億3200万円	△4.8%
特別会計	90億6828万円	3億8901万5千円	4.5%
国民健康保険（事業勘定）	29億1200万円	△1800万円	△0.6%
〃（日置診療施設勘定）	1360万円	100万円	7.9%
〃（三舞診療施設勘定）	800万円	200万円	33.3%
〃（川添診療施設勘定）	3210万円	190万円	6.3%
後期高齢者医療	6億4700万円	3850万円	6.3%
介護保険	31億5900万円	1億2200万円	4.0%
土地取得	2010万円	0円	0.0%
簡易水道事業	9480万円	820万円	9.5%
農業集落排水事業	1070万円	190万円	21.6%
下水道事業	6億7600万円	△1億6750万円	△19.9%
水道事業	14億9498万円	△3億9901万5千円	36.4%
総合計	216億5828万円	△2億4298万5千円	△1.1%



## ▷▷ 予算審査特別委員会

令和2年度一般会計予算および特別会計予算等9件を審査するため、3月16日から18日までの3日間で、令和2年予算審査特別委員会を開催しました。

審査の過程では、「一般会計予算」、「後期高齢者医療特別会計予算」について反対討論がありました。付託された10件は、すべて原案のとおり可決すべきもの、承認すべきものと決しました。

### 》》 討論のあった議案

議案第16号「令和2年度白浜町一般会計予算議定について」、議案第18号「令和2年度白浜町後期高齢者医療特別会計予算議定について」の2議案では、質疑の後、廣畑議員が反対討論を行いました。起立採決の結果、いずれも賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決しました。採決の結果、討論の内容については次のとおりです。

※○は賛成、×は反対

賛否一覧	採決結果	堀匠	楠本隆典	南勝弥	丸本安高	正木秀男	堅田府利	松田剛治	小森一典	水上久美子	辻成紀	廣畑敏雄	溝口耕太郎	長野莊一
議案第16号 「令和2年度白浜町一般会計予算議定について」	可決すべきもの	○	○	/	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第18号 「令和2年度白浜町後期高齢者医療特別会計予算議定について」	可決すべきもの	○	○	/	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○

※委員長(南勝弥)は採決に加わりません。 ※議長(西尾智朗)は委員ではありません。

#### \*議案第16号 廣畑委員 反対討論(要旨)

反対

臨時雇用職員の行政事務等包括業務委託について、解雇、雇い止めにあたるのではないかと。また、現在、雇用契約に基づいて正規職員と同等の職務を遂行している者を合理的理由なく、短い時間を設定してフルタイムの会計年度任用職員に任用しないのは、今回の地公法や自治法の一部改正の趣旨にそぐわないのではないかと考える。また、受託企業は民間事業者としての営利を追求するものであり、採算が取れなかったり、必要な人員等を確保できなければ途中で撤退することも十分ありうる。さらに、管理経費なども加算され、直営よりもコスト削減できるとは限らない。そのような中、住民サービスの著しい低下を招くことになりかねない。以上のような理由から反対する。

#### \*議案第18号 廣畑委員 反対討論(要旨)

反対

後期高齢者医療特別会計予算は今回の保険料改定では、低所得者の特例軽減を廃止し、本則に戻すとなった。平均で年額5千円近くの値上がりである。また、賦課割合も低所得者に重い負担となっている。75歳の年齢で区切られ、受けられる医療も制限があり、重い負担を強いる後期高齢者医療制度は廃止すべきと考える。以上のような理由から反対する。



まさき ひでお  
正木 秀男 議員  
(一問一答)

## ・危機管理について



(非常時には電力供給が可能な電気自動車)

**問** 今後30年以内に起こるであろう南海地震・南海トラフ大地震、大津波の発生に対し、和歌山県は抜き打ちで緊急防災要員参集訓練を実施したところ、1時間半以内に90%の人員が参集したとのことである。

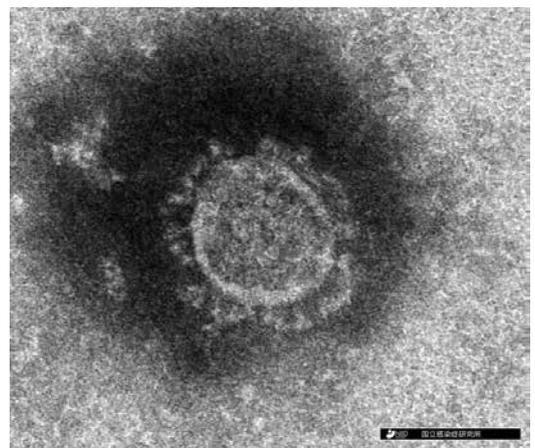
当町においても、緊急参集訓練は大事だと思うが、当局の考えはいかが。また、災害発生による停電等に対して電源確保等の対策はいかがか。

**答** 緊急参集訓練は、防災意識及び災害対応能力の向上にもつながる訓練と認識している。訓練を行う時期や時間、他機関と連携した訓練など、可能な範囲で実施を検討したい。

町が開設する避難所のうち、非常用発電機が設置されているのは4施設のみ。大規模災害において、長期の停電が懸念される中、自家発電機能を備える施設や電源供給可能な車両の導入も、検討が必要である。それまでは、各避難所に備蓄しているポータブル発電機で対応したい。

**問** 新型コロナウイルス感染症が国内外で脅威となっており、観光立町である当町においても、宿泊や予約のキャンセルや観光施設の休園、休館などの影響が出ている。

先が見えない事柄であるが、国や県、近隣市町との



提供：国立感染症研究所

(世界中で猛威を振るう  
新型コロナウイルス感染症)

**答** 近隣市町でも、新型コロナウイルス感染症対策本部が設置されており、各担当課等との情報共有、情報収集を行っている。観光産業は広域圏でも影響があるため、引き続き情報共有や連携をしていきたい。

予防対策として宿泊施設等の衛生強化に努めてお

り、公共交通機関へ町からアルコール消毒液の配布を行っている。検討している事業として、誘客を図ることを目的とした旅行クーポン券や、町内の消費拡大を目的とした経済活性化策の取り組みを早急に実施したいと考えている。また、白浜はまゆう病院については、田辺保健所の指示に従い、紀南病院、南和歌山医療センターと連携をとりながら対応しているとのことである。



まるもと やすたか  
丸本 安高 議員  
(一問一答)

## ・税の滞納と差押 ・町長の政治姿勢

**問** 先の議会で税の滞納と差押えについて質問をしたが、見解の相違があり再度質問する。

町は差押え禁止債権である年金や給料が口座に入れば、生活費として控除しなければならぬ月10万円と親族一人4万5千円を控除せず差押えをしている。年金や給料は口座に入れば預金債権に変わり、全額の押えができるとのことだが、差押えが可能となる法文があるのか。年金、給料等の差押え禁止債権を行政が押え、裁判での判例が3件あり、すべて行政側が敗れている。一連の判例を無視せず踏襲すべきでは。

**答** 預金債権に関しては差押え禁止額等を定めた法令はないが、大阪高裁の判決は、より一層住民の生活状況を勘案し、個別の事情を考慮すべきものであると理解している。滞納処分に際

### --- 関係法令抜粋 ---

#### 【国税徴収法第76条】

給料、賃金、俸給、歳費、退職年金及びこれらの性質を有する給与に係る債権については、次に掲げる金額の合計額に達するまでの部分の金額は、差し押えることができない。この場合において、滞納者が同一の期間につき2以上の給料等の支払を受けるときは、その合計額につき、第4号又は第5号に掲げる金額に係る限度を計算するものとする。

#### 【国税徴収法施行令第34条】

法76条第1項第4号に規定する政令で定める金額は、滞納者の給料、賃金、俸給、歳費、退職年金及びこれらの性質を有する給与に係る債権の支給の基礎となった期間1月ごとに10万円（滞納者と生計を一にする配偶者、その他の親族があるときは、これらの者一人につき4万5千円を加算した金額）とする。

し財産調査等を充分に行い、総合的に判断し担税力を見極めており、生活が困窮していると思われる方については福祉部局とも連携している。今後も租税法理主義の下、税の公平公正の原則に則り、徴収の強化に努め職務を遂行する。

**問** 先の議会で「原子力発電所の核燃料や使用済燃料などを、町内に持ち込むことや、それらを貯蔵、処分する施設の建設を認めない。」条例が可決された。当日6時過ぎ、民放で放映され、関西電力から「将来の立地地点として、地元情勢を鑑みながら地道に取

り組んでいく。今後も地元情勢を踏まえて、適切に対処したい。」とのコメントが出た。また、2町合併1年前に「日置は原子力発電所の候補地」とコメントしている。関西電力の土地を購入し、町有地としていく方策を講じるべきでは。

**答** 現在、ご指摘のような原子力関連施設を整備するには、地元自治体の同意が必要になってくる。そのため、私の考えとして施設を受け入れる考えがないこと、また、それだけでは町民の不安を払拭できないこと、明瞭にしたのが「白浜町安心・安全なまちづくり推進条例」である。首長、自治体の考えを無視して施設整備を進めることは出来ないと考えており、現時点においては、電力事業者が所有する土地を購入し、町有地とする考えはない。

# ・介護保険制度について ・新型コロナウイルス感染症に かかる取り組みについて



ひろはた としお  
廣畑 敏雄 議員  
(一問一答)



(介護予防事業のひとつ、シニアエクササイズ)

**問** 町の介護予防・日常生活支援総合事業の現状と、地域での住民主体の介護予防の取り組みについて伺う。

**答** 総合事業では以前と変わらないサービスの提供を引き続き行っており、地域住民が主体となる取り組みとして、生活支援体制整備事業を進めている。また、住民主体の介護予防の取り組みについては、わかやまシニアエクササイズ修了者によるステップ台を活用した運動を行うグループと、ふれあいいきいきサロンのグループがある。

**問** 作成に8千円から1万円かかっているケアプランについて、現在は保険料の中で賄っているが、今度の改正で有料化が言われている。このような高額な負担となるなら、必要なのに利用をやめる方が多く出るのではないか。

**答** 国の社会保障審議会介護保険部会において、利用者等に与える影響を踏まえながら引き続き検討を行うとの方向性が示されており、今後、国の動向を注視しながら検討していく。

**問** 新型コロナウイルス感染症対応について、どのように対応してきたか。また、改定されようとしている特別措置法第5条の国民の自由や人権尊重について細心の注意が必要と考えるがいかがか。



(小中学校では児童生徒が長期間登校できていない ※4月9日現在)

**答** 2月19日に町長を本部長とした、「白浜町新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、情報収集、情報発信に努めている。特別措置法第5条の国民の自由や人権尊重については細心の注意を払うのは当然と考える。

**問** 一律休校での学校や学童保育での対応について、食事・学習・集団などの課題についてどのような方向を見定めているか。

**答** 家庭で居ることが難しい児童生徒は、午後1時までに学校で預かり、学童保育所の開設時間を前倒している。未履修については、プリント等を作成し家庭学習で対応出来るようにし、家庭でできないものは新年度で履修できるように準備を行っている。

**問** 支援学校も休校しているなか、障害児デイサービスの受け入れの様子や状況はどうか。また、町内小学校に在籍する障害をもった児童の処遇について、保護者とのかわりも絡んでどのように行われているか。

**答** 既にサービスを利用している児童は、保護者と事業所が直接話し合い、変更があれば町に連絡がある。これまで利用のない児童は、希望があればスムーズに利用開始ができる体制を整えている。

# ▶▶ 討論のあった議案



定例会 4 日目に、予算審査特別委員会での審査結果報告を委員長から受けた後、議案第 16 号「令和 2 年度白浜町一般会計予算議定について」、議案第 18 号「令和 2 年度白浜町後期高齢者医療特別会計予算議定について」の 2 議案に対し、廣畑議員から反対討論があり、起立採決の結果、賛成多数により可決しました。

採決の結果とそれぞれの討論の要旨は、次のとおりです。

○：賛成 ×：反対	議決結果	堀匠	楠本隆典	南勝弥	西尾智朗	丸本安高	正木秀男	堅田府利	松田剛治	小森一典	水上久美子	辻成紀	廣畑敏雄	溝口耕太郎	長野莊一
議案第 16 号 「令和 2 年度白浜町一般会計 予算議定について」	可決	○	○	○	/	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第 18 号 「令和 2 年度白浜町後期高齢者 医療特別会計予算議定について」	可決	○	○	○	/	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○

※議長（西尾 智朗）は採決に加わりません。

## 議案第 16 号

### 反対討論要旨（廣畑議員）

臨時雇用職員の行政事務等包括業務委託について、解雇、雇い止めにあたるのではないかと。また、現在、雇用契約に基づいて正規職員と同等の職務を遂行している者を合理的理由なく、短い時間を設定してフルタイムの会計年度任用職員に任用しないのは、今回の地公法や自治法の一部改正の趣旨にそぐわないのではないかと考える。また、受託企業は民間事業者としての営利を追求するものであり、採算が取れなかつたり、必要な人員等を確保できなければ途中で撤退することも十分ありうる。さらに、管理経費なども加算され、直営よりもコスト削減できるとは限らない。そのような中、住民サービスの著しい低下を招くことになりかねない。以上のよう

## 議案第 18 号

### 反対討論要旨（廣畑議員）

後期高齢者医療特別会計予算は今回の保険料改定では、低所得者の特例軽減を廃止し、本則に戻すとなった。平均で年額 5 千円近くの値上がりである。また、賦課割合も低所得者に重い負担となっている。75 歳の年齢で区切られ、受けられる医療も制限があり、重い負担を強いる後期高齢者医療制度は廃止すべきと考える。以上のような理由から反対する。



## ▷▷ 提出した意見書

定例会 1 日目に、意見書の委員会提案があり、採決の結果、全会一致で可決し、関係機関へ提出しました。意見書の内容等は下記のとおりです。

発委第 1 号 新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書  
提出者 白浜町議会運営委員長 水上 久美子  
採決結果 可 決 全会一致

### 新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書

中華人民共和国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルスによる感染症は急速な勢いで世界各地に拡散し、国際的な脅威となっている。

我が国において、感染の状況が日々刻々と変化している中、和歌山県内でも感染者が発生したことから、県民の暮らしに深刻な影響を及ぼしている。

特に、我が白浜町は、年間 300 万人を超える観光客で賑わう全国有数の観光地であり、すでに宿泊予約のキャンセルや観光施設の休園など地域経済に影響が出始めている。

これから観光シーズンを迎えるにあたり、高まる不安や風評被害、地域経済への影響が避けられない状況にあり、迅速かつ適切な対応が求められている。

よって、国におかれては、安心・安全の確保とともに、不安を解消すべく、下記について取り組むよう求める。

#### 記

1. 国内の感染拡大の防止に努め、感染予防方法の周知徹底と、迅速で正確な情報提供を行うこと。
2. 相談体制や検査実施の強化充実を図り、地方における医療体制の強化を支援するとともに感染症予防に関する物資の確保に努めること。
3. 観光を含めた地域経済への影響を最小限にするとともに、風評被害への対応、中小企業・小規模事業者に対する緊急の資金融資等の支援策を講じること。
4. 感染症対策に必要な財政支援を講じること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

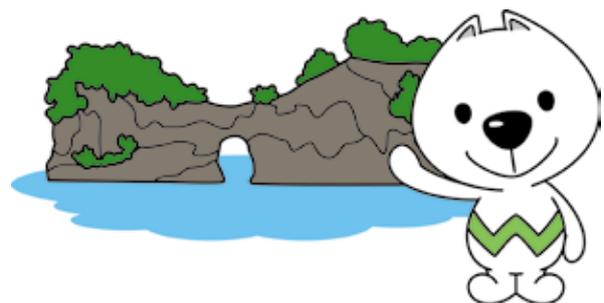
令和 2 年 3 月 3 日 和歌山県白浜町議会

【提出先】 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 経済産業大臣 厚生労働大臣  
農林水産大臣 国土交通大臣 内閣官房長官  
衆議院議長 参議院議長

## ▷▷ 町議会・町議会議長の主な動き (1月～3月)

1月4日	成人式
5日	消防出初式
6日	交通安全年頭式
8日～ 10日	新年挨拶まわり (大阪・名古屋・東京)
9日	議会広報特別委員会
17日	有田川町議会視察来庁
19日	熊野路少年柔道大会
29日	県議長会総会及び県幹部 との意見交換会(和歌山市)
30日	和歌山県後期高齢者医療 広域連合保険料率説明会 (上富田町)
2月3日	長野県上田市議会視察来庁 栃木県栃木市議会視察来庁
12日	全員協議会 白浜温泉街周遊観光実証実験 説明会(試乗会)
13日～ 14日	和歌山県議長会議長・副議長・ 事務局長研修会(和歌山市)
17日	和歌山県後期高齢者医療 広域連合議会(和歌山市)
18日	紀南環境広域施設組合議会 (田辺市)
19日	富田川治水組合議会 (上富田町)
21日	公立紀南病院組合議会 (田辺市)
25日	富田川衛生施設組合議会 田辺周辺広域市町村圏組合 議会(田辺市)
26日	議会運営委員会 大辺路衛生施設組合議会 (すさみ町)
27日	日置川へりポート竣工式

28日	紀南地方老人福祉施設組合議会 紀南地方児童福祉施設組合議会
29日	白浜町スポーツ奨励賞表彰式
3月3日	議会運営委員会 第1回定例会(第1日) 全員協議会 予算審査特別委員会
6日	公立紀南病院組合議会予算 審査特別委員会(田辺市)
12日	第1回定例会(第2日) 議会運営委員会 全員協議会
16日	予算審査特別委員会
17日	予算審査特別委員会
18日	予算審査特別委員会
19日	第1回定例会(第3日) 議会運営委員会
24日	第1回定例会(第4日) 議会運営委員会 全員協議会 予算審査特別委員会
26日	都市計画審議会 和歌山県選出国會議員へ陳情 (東京都)
27日	公立紀南病院組合議会(田辺市)
30日	議会運営委員会



## 次回日程

次回定例会（6月）の会期は、6月9日（火）から24日（水）までの予定です。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2 議会運営 委員会 10:00~	3	4	5	6
7	8	9 <b>開会日</b> 第1日 提案説明等 10:00~	10 (休会) ※委員会開催や 議案調査のため	11	12	13
14	15	16	17	18 第2日 一般質問 10:00~	19 第3日 一般質問 10:00~	20
21	22 (休会)	23 第4日 議案審議 10:00~	24 <b>閉会日</b> 第5日 議案審議 10:00~	25	26	27

6月議会の日程は、6月2日（火）開催予定の議会運営委員会で決定します。  
詳細は、議会事務局（43-6591）までお問い合わせください。

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症という経験したことの無い感染症の影響が、国際的な脅威となっています。高まる不安、地域経済、地域産業への影響などが避けられない状況にあり、迅速かつ適切な対応が求められています。町議会としましても、行政と、そして町民の皆さまと力をあわせて、この難局を乗り越えたいと考えています。

今後も、この議会だよりにより、町民の皆さまに議会の活動等を幅広く知っていただけるよう、委員一同、誠心誠意取り組んでまいります。  
(長野)

### 議会広報特別委員会

委員長 長野 莊一  
副委員長 堅田 府利  
委員 廣畑 敏雄 小森 一典  
丸本 安高 溝口 耕太郎

町議会に関する情報は「議会ホームページ」へ



## 骨格予算

骨格予算は、法令上の概念はなく、首長改選を目前に控えているなどから、政策的な判断ができにくいなどの事由により、新規の施策等を見送り、政策的な経費を極力抑え、人件費などの最低限必要な経費を盛り込んで編成する予算のことで、慣用的に「骨格予算」と呼んでいます。

この場合、次の議会で補正予算として骨格予算で計上されなかった政策的な経費を加え、いわゆる肉付け予算を編成するのが一般的です。

改選後に首長の意向を盛り込んだ予算を編成するんだね！

